

～1月・2月の様子から～

1年生（冬さがし）

生活科の一環で茅ヶ崎公園へ行きました。夏には草でいっぱいだった広場が、とても広く感じました。6年生が、公園の樹木に数字が書かれた木片を設置してくれたので、それを利用して「公園ビンゴ」を楽しみました。どこにあるかわからないワクワク感と、いろいろな樹木の名前を憶える満足感で楽しむことができました。



2年生（地区センター見学）

1月26日（木）に生活科の学習で地区センターへ見学に行きました。地区センターの施設を見せてもらい、それぞれがどんなところかを説明してもらいました。そのあと、子どもたちが考えてきた質問に答えてもらいました。

体育室や図書コーナー、料理室など色々な活動ができる部屋があり、地域の人が利用している様子を知ることができました。

また、館長さんから「地域の人が楽しく運動したり、読書したりできることが地区センターの目的であり、地域の方に喜んでもらえたとき、仕事のやりがいを感じます。」とお話をいただきました。



3年生（駐日ボツワナ大使とオンライン交流）

2月15日（水）の5校時に、駐日ボツワナ大使であるモラケ大使と、オンラインで交流をしました。6月に国際理解教室でご来校いただき、直接お会いしていましたが、久々の再会に、子どもたちは嬉しそうな様子でした。

交流会の初めには、「デュメララ（ボツワナ語で「こんにちは」）」と挨拶をしたところ、大使は「こんにちは」と日本語で挨拶を返してくださいました。

また、総合的な学習の時間で、自分たちのクラスが取り組んでいることについて大使に報告をしました。大使からは、「ボツワナのことについてたくさん調べてくれてありがとう。これからも日本人たちにボツワナのことを知ってもらうために頑張るね。」というメッセージをいただきました。

いくつか質問にも答えていただき、子どもたちは興味深くお話を聞いていました。



4年生（成長を伝える会）

実行委員が決めた、「波のように大きくなった私たちの成長を伝えよう」のスローガンのもと、各クラスでどんな発表をしたいかを話し合うことから活動が始まりました。子どもたちは、何をどうやって発表すればよいか、本番までに足りていないことは何か、どんな段取りで準備を進めていけばよいかなど、様々な課題に直面します。しかし、自分でよく考え、グループで何度も意見を交わし、練習を重ねることで、一つひとつ乗り越えてきました。タイピング、音読劇、合奏、体育（マット・跳び箱・縄跳び・大縄）、社会科（都道府県・吉田勘兵衛劇）、書道、図画工作、更に合唱。自分たちの力で素敵な会を作り上げた経験を自信に繋げ、目の前に迫ってきた高学年という舞台でも活躍してほしいと願っています。



5年生（球技交流会）

クラス対抗の球技交流会を開催しました。どのクラスも、この日に向けてバスケットの学習を楽しみながら一生懸命に取り組んできました。

当日は、「今までの学習の成果を発揮すること」「勝敗に関わらず、お互いの努力をたたえ合うこと」をめあてにゲームを行いました。ボールを呼ぶ姿、シュートを粘り強く狙う姿、必死にゴールを守る姿、お互いの選手を応援する姿、どれもみな輝いていました。



6年生（東京見学）

2月15日（水）に東京見学で、国会議事堂と国立科学博物館に行ってきました。テレビや映像でしか見たことのない、国会の内部を見学し、洋風になっている建物のつくりや、本会議場の広さに驚いていました。最後の校外学習として、とても有意義なものになりました。



7・8・9組（ちがさきぐんぐん発表会）

学習発表会として、子どもたちが話し合ってネーミングを決めた「ちがさきぐんぐん発表会」を行いました。1年間、学習してきたまとめとして、音楽と体育のリレーを発表しました。返事をしっかりすること、堂々と発表すること、よい姿勢で聞くこと、友達に拍手を送ることをめあてに練習を積み重ねました。当日は、練習の成果を発揮することができました。1年間の成長を保護者の方に見ていただき、子どもたちもとてもやり遂げた気持ちでいっぱいでした。

